

記者会見資料
記者発表資料
報道機関配布資料

平成23年12月19日

件名 第3回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果について

[内容]

平成23年10月17日(月)～21日(金)の5日間実施した第3回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果についてとりまとめましたのでお知らせします。

なお、ノーマイカーウィークを3年間継続してきた結果、通常時の交通量減少、CO2の排出量削減、ノーマイカー通勤者の着実な増加など大きな効果がありました。

今後も引き続き松江市のより良い交通環境の実現に向けた取組みを継続していきます。

[参加事業所数・参加者数]

・約100事業所、期間中(5日間)延べ約2,600人が参加。うち約7割が3年間継続参加。

[マイカーからの転換交通手段の状況]

・「自転車」(22%)、「鉄道」(21%)、「バス」(19%)、「バイク」(16%)、「徒歩」「相乗り」(12%)

[第3回ノーマイカーウィークの効果] ※調査日は事前：平成23年10月5日(水)、期間中：平成23年10月19日(水)

○効果1：主要交差点で渋滞緩和。

○効果2：自転車利用者・歩行者数が増加。

[ノーマイカーウィーク3年間継続実施の効果] ※平成21年、22年の取組み時との比較

○効果1：取組みの継続により、通常時の自動車交通量が減少。

○効果2：渋滞緩和と自動車交通量の減少により主要交差点から排出されるCO2が大幅削減。

○効果3：ノーマイカー通勤者が着実に増加。

○効果4：ノーマイカーの取組み意識が確実に高まっています。

問い合わせ 松江市役所 政策部地域・交通政策課

担当 課長 足立 保
副主任 佐藤 広樹

電話 (0852)55-5661

国土交通省松江国道事務所 担当 副所長 石川 庄嗣

調査設計課長 西ノ原 真志

電話 (0852)26-2131

問い合わせ 政策部地域・交通政策課

担当者 佐藤 TEL 55-5661

決裁

○添付資料 有 無

○写真 有 無

○図面・イラスト 有 無

○説明 有 無

広報主任	広報事務連絡員

※提出部数 記者会見 35部
記者発表 25部
配布資料 23部

第3回「松江市一斉ノーマイカーウィーク」の実施結果について

～ ノーマイカーウィーク3年間継続実施の効果 ～

松江市では高い自動車利用による慢性的な渋滞やCO2排出の増加、公共交通利用者の減少などが深刻化しています。このような交通・環境問題に対し、事業所や市民の皆様にも過度なクルマ利用を見直すきっかけづくりとして、平成21年から「松江市一斉ノーマイカーウィーク」を実施してきております。今年も、10月17日(月)～21日(金)にかけて実施し、約100事業所、延べ約2,600名^{*}の市民・事業所のみならずみなさまにご協力いただき、市内各所で渋滞が緩和するなどの大きな効果がありました。

^{*}2,600名は、ふだんマイカー通勤をしている人がノーマイカーウィーク期間中にクルマ通勤を転換した人数であり、ふだんクルマ以外の手段で通勤している人は含んでおりません。

<結果の概要> ※詳細は次頁以降参照

1. マイカーからの転換交通手段の状況(事後の事業所アンケート結果から)

- 「自転車」(22%)、「鉄道」(21%)、「バス」(19%)、「バイク」(16%)、「徒歩」「相乗り」(12%)

2. 第3回松江市一斉ノーマイカーウィークの効果 (速報の再掲)

効果1 渋滞が大幅に減少しました。

- くにびき大橋南詰交差点(南進)の最大渋滞長が560m短縮、渋滞継続時間が20分短縮 等

効果2 自転車利用者・歩行者数が増加しました。

- 大橋川を横断する自転車交通量が約80%、歩行者交通量が約14%増加

3. 松江市一斉ノーマイカーウィークの3年間継続実施の効果

効果1 取組みの継続により、通常時の自動車交通量が減少。

- 宍道湖大橋北詰交差点(東進)で約23%減少、くにびき大橋南詰交差点(南進)で約10%減少

効果2 渋滞緩和と自動車交通量の減少により主要交差点から排出されるCO2が大幅削減。

- 平成21年の通常時の主要交差点で排出されるCO2と比較して、平成23年の通常時では約20トン削減

効果3 ノーマイカー通勤者が着実に増加。

- 事業所アンケート結果では、過去2回のノーマイカーウィーク参加以降、約8%の事業所で「クルマ通勤をやめた」、約32%の事業所で「ときどきクルマ以外で通勤する人が増加した」と回答

効果4 ノーマイカーの取組み意識が確実に高まっています。

- 事業所アンケート結果では、昨年に引き続き約90%が「今後もクルマ利用を控える取組みを続けようと思う」と継続意向を示し、約99%の事業所が「ノーマイカーウィークの取組みを続けたほうが良いと思う」と回答

4. 参加者からの声

①取組みに参加してよかったこと

「渋滞緩和の状況が実感できた」

「自転車移動で時間短縮になった」

「朝のくらしのリズムを見直すきっかけになった」 等

②ノーマイカーの取組みを進める上での課題

「公共交通の利便性向上」

「自転車利用しやすい環境整備」

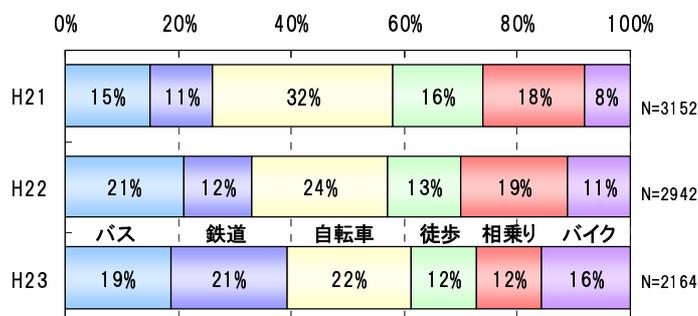
「自転車、歩行者マナーの向上」 等

⇒みなさまからの貴重なご意見を今後の取組みの参考にさせていただきます。

1. マイカーからの転換交通手段の状況

- 参加者のマイカーからの転換交通手段は、「自転車」が22%と最も多く、次いで「鉄道」(21%)、「バス」(19%)、「バイク」(16%)、「徒歩」「相乗り」(12%)の順となっています。

■参加者のマイカーからの転換交通手段の状況(H21~H23) 事後の事業所アンケート結果より



2. 第3回松江市一斉ノーマイカーウィークの効果

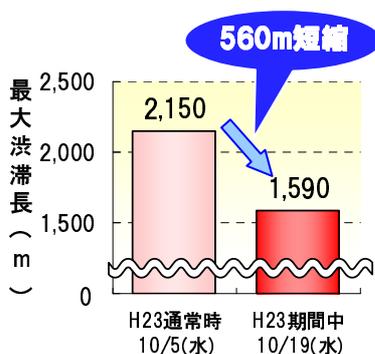
効果1 渋滞が大幅に減少しました。

- 期間中多くの市民・事業所がマイカーから公共交通や自転車・徒歩等に転換した結果、市内の主要交差点で朝ピーク時の渋滞長が軒並み減少しました。
- また、渋滞時間が大幅に短くなり、ノーマイカーウィーク期間中は通常時より早く渋滞が解消しました。

■渋滞状況の比較(朝ピーク時(7時~9時)の最大渋滞長)

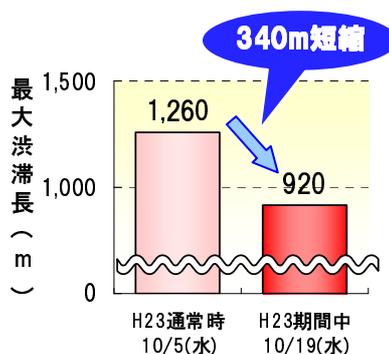
▼国道485号

くにびき大橋南詰交差点(南進)



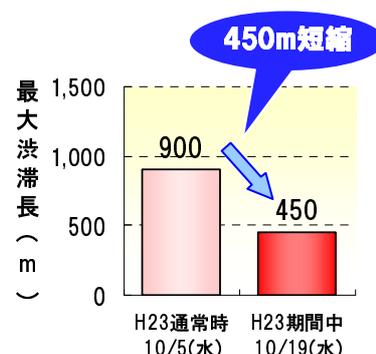
▼国道431号

宍道湖大橋北詰交差点(東進)

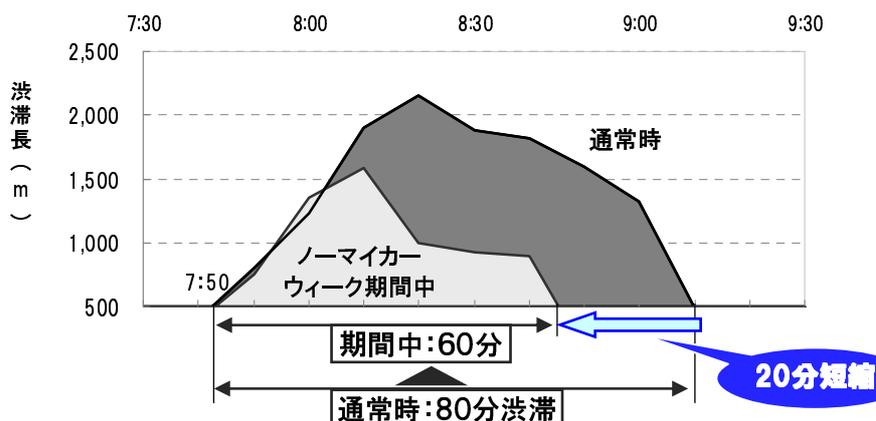


▼国道9号

袖師交差点(東進)



■渋滞発生時刻と渋滞長(国道485号くにびき大橋南詰交差点(南進))



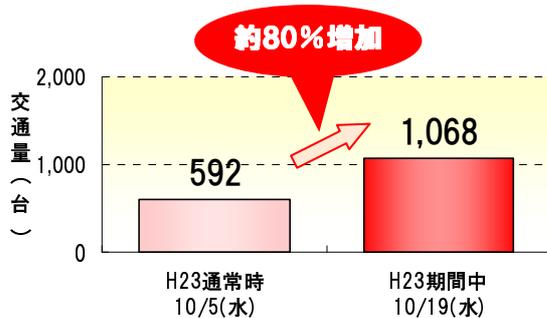
効果2 自転車利用者・歩行者数が増加しました。

- ノーマイカーウィーク期間中、クルマを控えて徒歩や自転車で通勤された方も多く見られました。大橋川を横断する自転車台数及び歩行者数も、ノーマイカーウィーク実施前と比較して大幅に増加しています。

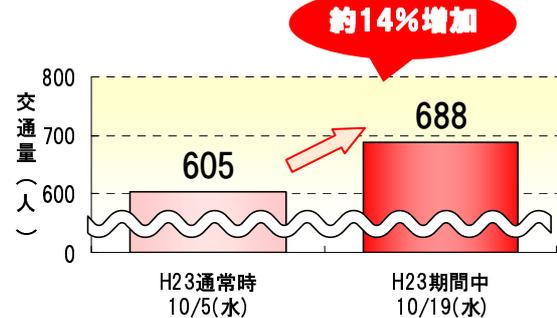
■大橋川を横断する自転車台数及び歩行者数(朝ピーク時(7時～9時))

※大橋川を横断する4橋の合計。高校生以下を除く

▼自転車台数



▼歩行者数

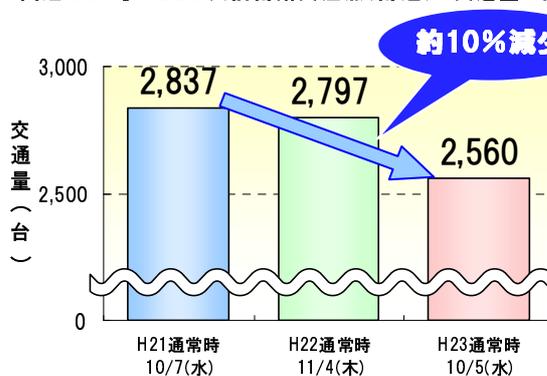


3. 松江市一斉ノーマイカーウィークの3年間継続実施の効果

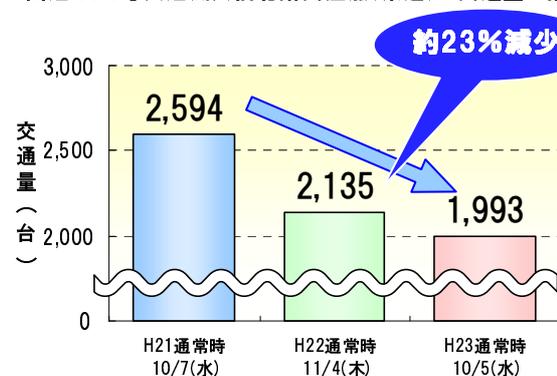
効果1 取組みの継続により、通常時の自動車交通量が減少。

- これまでのノーマイカーウィークでの取り組みをきっかけに、ノーマイカー通勤者が増えています。その結果、ふだんの朝ピーク時の交通量も、ノーマイカーウィークが始まった2年前と比較して減少してきています。

▼国道485号くにびき大橋南詰交差点(南進)の交通量の推移



▼国道431号宍道湖大橋北詰交差点(東進)の交通量の推移



※朝ピーク時(7:30～9:00)の交通量

効果2 渋滞緩和と自動車交通量の減少により主要交差点から排出されるCO2が大幅削減。

- 平成21年の通常時の主要交差点で排出されるCO2と比較して、平成23年通常時には、交通量の減少もあり、約20トン削減されています。さらに、ノーマイカーウィーク期間中には約2トン削減されました。

※主要交差点：宍道湖大橋北詰、くにびき大橋南詰、西津田、東津田

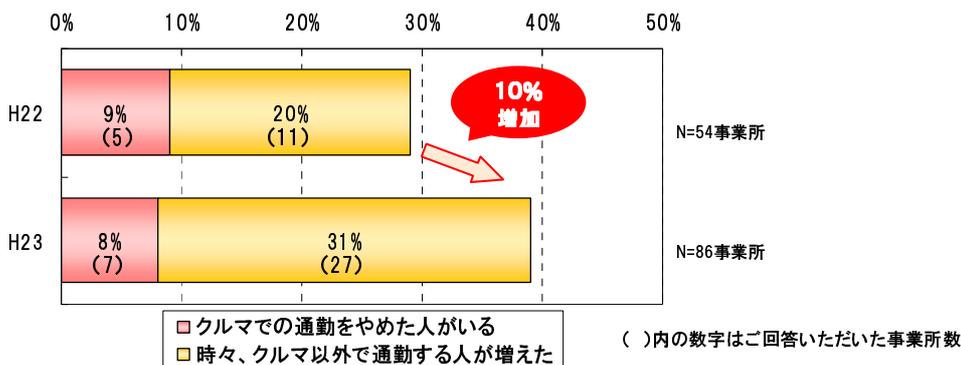
※削減量は平日5日間の合計

効果3 ノーマイカー通勤者が着実に増加。

- 事業所アンケート結果では、過去2回のノーマイカーウィーク参加以降、約8%の事業所で「クルマ通勤をやめた」、約31%の事業所で「ときどきクルマ以外で通勤する人が増加した」と回答し、ノーマイカー通勤者が増えています。

※なお、今年は松江市職員においてもマイカー通勤抑制の取組みを実施するなど、ノーマイカー通勤が推進されてきています。

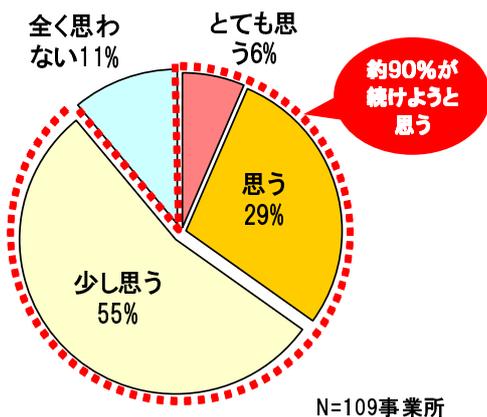
■ノーマイカーウィーク参加以降の通勤状況の変化状況



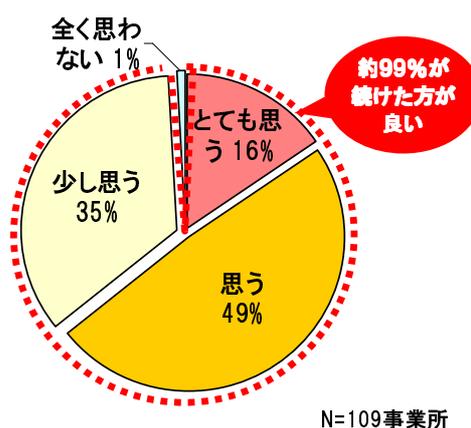
効果4 ノーマイカーの取組み継続意識が確実に高まっています。

- 事業所アンケート結果では、昨年に引き続き約90%が「今後もクルマ利用を控える取組みを続けようと思う」と継続意向を示し、約99%の事業所が「ノーマイカーウィークの取組みを続けたほうが良いと思う」と回答し、取組みの継続意識が高まっています。

■今後もクルマ利用を控える取組みを続けようと思えますか？



■今後もノーマイカーウィークの取組みを続けたほうが良いと思えますか？



4. 参加者からの声

① 取組みに参加してよかったこと

- 期間中にクルマ以外の通勤をすることで、「渋滞緩和の状況が実感できた」、「自転車移動で時間短縮になった」、「朝のくらしのリズムを見直すきっかけになった」など、取組みにより新たな発見があったことに対する声が多く寄せられました。

- ・ 実際に参加してみて、改めて渋滞の緩和の様子に気づき、小さな感動があった。
- ・ 普段に比べノーマイカーウィーク時は車の量が少ない事を実感できた。
- ・ 若干ではあるがCO2削減等に貢献できたとの達成感。
- ・ 電車通勤だと仮眠がとれ、身体は楽だった。
- ・ 電車通勤になり季節感を感じた。
- ・ バスに乗ることが少し新鮮だった。
- ・ 近場の用事でも無意識に車で移動していたが意識して自転車で移動してみると時間の短縮や気分転換にもなった。
- ・ 自転車通勤において、宍道湖の風景を眺めながら気持ち良く走ることができた。
- ・ 自転車にかえることで、少々早く家を出るが、朝のくらしのリズムを見直すきっかけとなった。
- ・ 徒歩通勤してみると、気分も爽快になり体調も良くなった。
- ・ 徒歩通勤は健康によいのでノーマイカーウィーク以降も続けて行きたい。
- ・ 継続的に行えば実践するものの意識の改善が図れるように思う。
- ・ 官民あげての一斉運動への理解が深まった。 等

※事後の事業所アンケート結果より

② ノーマイカーの取組みを進める上での課題

- 今後、クルマ利用を控える取組みを進めていく上での課題として、「公共交通の利便性向上」、「自転車利用しやすい環境整備」、「自転車、歩行者マナーの向上」など、クルマ以外の交通を快適に利用できる環境整備に対する貴重なご意見を数多くいただきました。

- ・ 公共交通機関の便数等を充実させることが最も重要では
- ・ バスの本数が少なすぎて非常に不便を感じた。
- ・ 終電、終バス時刻の延長とバス路線の充実
- ・ 期間中の公共交通機関の料金割引
- ・ 道路が狭い箇所もあり、自歩道の整備、路肩の拡幅、自転車の専用道路の整備必要。
- ・ 自転車利用者が快適に走れるようなインフラ整備。（自転車専用道増設など）
- ・ 自転車や歩行者もマナーの悪い方が見受けられる。交通安全週間と同時にノーマイカーウィークを実施し、マナーの向上も期待したらいかがでしょうか。
- ・ もう少し暖かい時期にすると、継続して行えるのではないのでしょうか？
- ・ 各職場での対応には限界があり、本当に実のある取組にするには、市や県レベルでの相当思い切った制度改革やシステム作りが不可欠
- ・ 「健康づくり」イベントとの共催、例えば「ウォークラリー」などを企画してはどうか。 等

※事後の事業所アンケート結果より

市民のみなさまの少しずつの取組みを継続・集結することで、3年間に渋滞緩和やCO2排出量の削減など大きな効果をあげることができました。

今後も引き続き松江市のより良い交通環境の実現に向けた取組みを継続していきます。